

若年性認知症とは

65歳未満で発症した認知症を若年性認知症といいます。認知症は一般的に高齢者に多い病気ですが、若い方でも発症する場合があります。

働き盛り世代での発症は家庭に与える影響が大きく、経済的な問題も生じやすいため、早期の治療や支援が大切です。

認知症の症状

認知症の主な症状には物忘れや判断力・理解力の低下などがありますが、初期の症状はうつ病や更年期障害と類似していることもあります。

治療を受けても症状に改善がみられないときは早めに専門医を受診しましょう。

こんな症状はありませんか？

- 仕事の段取りが悪くなった
- 複数の作業を同時並行で行えなくなった
- 大事な約束を忘れてしまう
- 仕事でのミスが増えた
- 探し物をする事が多くなった
- 車の運転に不安を感じるようになった
- 身だしなみに気を遣えなくなった
- 料理が段取りよくできなくなった
- お金を計画的に使えなくなった
- 意欲がなくなる
- イライラしやすくなった



バス：コミュニティバス「すまいるバス」福井県立美術館前下車
徒歩 10 分
京福バス福井駅 26 系統市立図書館前バス停下車徒歩 3 分
電車：えちぜん鉄道・福井鉄道田原町駅下車徒歩 10 分

福井県若年性認知症相談窓口

〒910-0017
福井県福井市文京2丁目9番1号
公益財団法人 松原病院内

☎ 0776-63-5488

月～金 9:00～17:30

(祝日・年末年始を除く)

福井県若年性認知症相談窓口は県の委託を受けて、公益財団法人松原病院が運営しています。相談はすべて無料です。相談内容は同意なく外部に漏れることはありません。匿名での相談も可能です。

福井県若年性認知症 相談窓口



若年性認知症相談窓口の取り組み

若年性認知症の診断を受けてもできることはたくさんあります。周りの理解の中で仕事を続けている方、新しい生きがいや居場所を見つける方もいます。支え合える仲間との出会いの場もあります。若年性認知症相談窓口では各関係機関と連携しながら、若年性認知症の方やご家族を支える様々な取り組みを行っています。

個別相談

仕事のこと、家庭のこと、経済的なこと、利用できるサービスのこと、日常生活のことなど、ご家族やご本人、支援する方の様々な相談に応じます。

電話相談だけでなく、面接相談、訪問相談も行っています。必要に応じて各関係機関と連携しながら相談・支援を行います。



若年性認知症支援コーディネーターが対応します。若年性認知症の方は適切なサポートにつながるまでに時間がかかるため、早めの相談が大切です。診断前の相談も可能です。まずはお電話ください。

今は大丈夫だけど、これからどうなるのか心配

どこに受診したら良いの？

認知症ってどんな病気？

本人が受診を拒否している

最近様子がおかしいこれって認知症？

経済的なサポートはあるの？

本人にどう対応すれば良いの？

使える制度が知りたい！

病気になるっても今の職場で働きたい！

同じ悩みを持つ人と交流したい！

退職したけどまた仕事をしたい！

日中過ごす場所が欲しい！

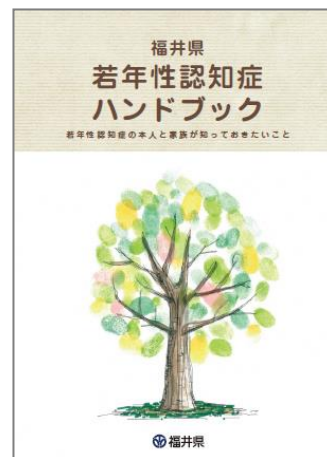
日常生活の支援を受けたい！

福井県若年性認知症ハンドブック

就労支援から介護保険サービスまで若年性認知症の方が利用できる制度や支援機関などをまとめた冊子を作成・配布しています。

個々の状況によって、利用できる制度や申請のタイミングが異なりますので、十分理解しておくことが大切です。

冊子は若年性認知症相談窓口の他、地域包括支援センターや医療機関などでも配布しています。また、福井県のホームページにも掲載しています。



若年性認知症の人と家族の会「ほや座くらぶ」

定期的に若年性認知症の人と家族の会「ほや座くらぶ」を開催しています。

前半はミニ講座やレクリエーション、後半はご本人とご家族に分かれての交流会を行います。同じ立場の人同士で悩みを相談したり、情報交換したりできる場となっています。

開催状況や内容等、詳しくは若年性認知症相談窓口にお問い合わせください。

ご希望の方には定期的に開催案内をお送りしています。

- <開催日> 原則奇数月の第4土曜日
- <時間> 9:30~11:30
- <場所> デイセンターすずかぜ (福井市文京2丁目16-6)
- <対象者> 若年性認知症の方とご家族 (発症時64歳以下)